

ニセコ町の歴代総合計画について

第1次総合計画（昭和47（1972）年度～昭和56（1981）年度）（10年間）

基本構想と基本計画の二編からなり、町の向かうべき方向を示す。

第2次総合計画（昭和57（1982）年度～平成3（1991）年度）（10年間）

キャッチフレーズ「山と緑の自然を愛し、明るく豊かな生活と生産のまちづくり」

基本構想と基本計画の二編からなる。

基本計画は、「安全で快適な住みよいまちづくり」「健康で明るく心のふれあいまちづくり」「豊かな生活と活力あふれるまちづくり」「町民の責任ある参加のまちづくり」。

第3次総合計画（平成4（1992）年度～平成13（2001）年度）（10年間）

サブタイトル「jump up ニセコ21プラン」

基本構想と基本計画の二編からなる。

基本計画は、「健康で思いやりのあるニセコ」「潤いとゆとりに満ちた快適なニセコ」「活力とたくましさに満ちた産業のあるニセコ」「個性と創造性豊かな人と文化を育むニセコ」「新しい定住と交流を拓くニセコ」「英知とエネルギーを結集するニセコ」。

第4次総合計画（平成14（2002）年度～平成23（2011）年度）（10年間）

基本理念

「小さいながらも世界に誇れる

暮らしやすさを実感できる

”環境のまち”『小さな世界都市ニセコ』

計画の策定にあたって、基本構想、基本計画の三編からなる。

基本計画は、「想いに向かって歩き出せる人を育てます」「空気と水と大地を大切にします」「家庭と地域の安心を支えます」「循環型のニセコ産業を育てます」「新しいまちづくりの仕組みと情報を使いこなします」。

第5次総合計画（平成24（2012）年度～令和5（2023）年度）（12年間）

基本理念「環境創造都市ニセコ」

序論、基本構想、基本計画・実施計画、地区ビジョンの四編からなる。

5つの将来像は、「ゆたかな自然環境を軸にエネルギーが循環するまち」「自然環境と調和した経済社会を持つまち」「まちの魅力を活かした新たな挑戦が、人と文化を育てるまち」「みんなが学びあい、成長しながら、いきいきと暮らすまち」「だれもが安心して暮らせるまち」。

第6次総合計画（2024年度～2035年度）（12年間）

基本理念「」